

破天荒

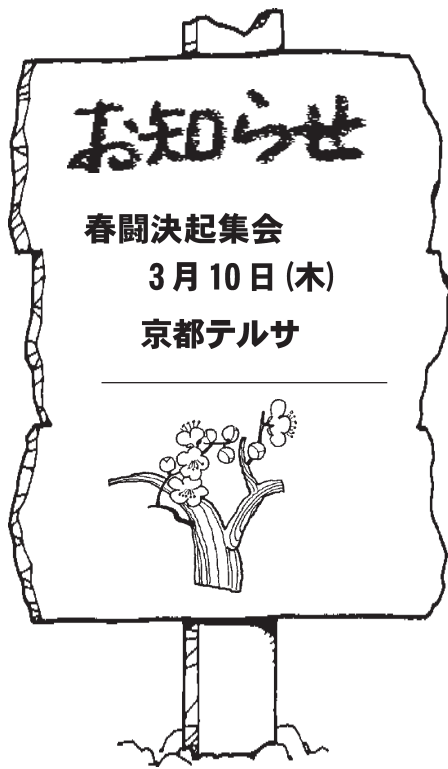
教宣部

5003号

2016年
3月 8日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

春だ、春闘だ 今年こそベースアップ実現を



ベア「0」が十四年間続いている中で、厚生年金・健康保険・介護保険・などの社会保険料の負担が増え、医療費・教育費・電気代・ガス代の支払いも増えてきました。そして消費税増税がボデイブローのように効いてきました。減らすのは小遣いだけです。生活水準低下を止めするには、ベアの獲得しかありません。

一律一万円

本人給改訂要求は一律一万円です。パート社員の時給は企業内最低賃金として、だれでも千円を要求しています。

竹中では二 二年から賃金ラインは変わっていません。そのため初任給レベルでは、世間実態より低い金額になってしまいました

二人以上世帯の実質可処分所得が三 年前以下の水準に落ち込んでいることが、総務省の「家計調査」で分かりました。実質可処分所得とは、実収入から直接税や社会保険料など非消費支出を除いた可処分所得(家計の判断で使える金額)を消費者物価指数で割ったものです。二 一五年は一

生活水準の低下

た。また、化学一般の賃金調査約三三 名で基準内賃金を比較すれば、四一歳位から定昇ベースが少なくなくなり、四七歳から更に少なくなるため、五五歳以上では中位数(同一年齢の中間)よりも低くなっています。十四年間ベアがなかった結果です。



九八五年水準を下回って四十万八四九円でした。実収入が伸び悩んでいる上に、非消費支出が実収入の一八・七%と調査開始以来最高額となっています。更に消費税八%への引き上げとアベノミクスによる輸入物価の押し上げで、消費者物価指数が一 四・六まで跳ね上がり過去最高水準です。生活が低下して当然のデータです。安倍首相も発言しているように賃上げしありません。

消費税10%に向けて

間違いなく来年四月には消費税10 %代に突入です。今年にベアを獲得することは来年へ繋ぐステップとして重要ですが、私たちが労働力を売る以外に生活の手段が無いのです。賃金を得るため会社に雇用されている弱い立場です。しかし賃金は家族全体の生活費用として必要です。生活低下が続くことにも限度がありません。会社には消費税増税分の賃上げを求めて当然と考えています。回答指定日3月16日にベア一万円回答を期待します。

職場の声

・長年務められた先輩・3 5年勤めて戦力になってきた方が辞められ疑問に思いますが、何が原因なのでしょう？

・離職者が最近多く、社内に元気が無くなっている気がします。

・仕様書や図面の不備な点(異記等)の修正に何故、変更提案書が必要なのでしょう？ 以前の変更指示書レベルの問題なのに。

ひとりごと

今、電子で何が起きているのか。派遣から嘱託社員になって、職場で中心的に実務を頑張っている二人が続けて退職されました。戦力を失うことになり残念な思いで一杯です。生産管理課の小倉さんは五年、資材購買課の宮崎さんは八年です。数年前には検査の三宅さん、総務の高崎さん、営業の中堅社員の数

名の退職もありました。仕事に慣れて任せられて、真面目やっつけてきた人が辞めてしまうのは、会社として大きな損失です。エンジンの推進として「あるべき姿」を追求する中で起きている職場実態(社風の変化)に問題があるのではないのでしょうか。協力関係のない不機嫌な職場・パワハラ・自己責任。

今、起きている何かを他人事と思わず、自分たちの会社を働き易く変えることは自分たちにしかできないのです。従業員を機械の一部品のように、思うように動かねば捨てるような扱いを許してはいけません。弱小ですが竹中には労働組合が存在しています。エンジン化の今こそ労働組合とも思